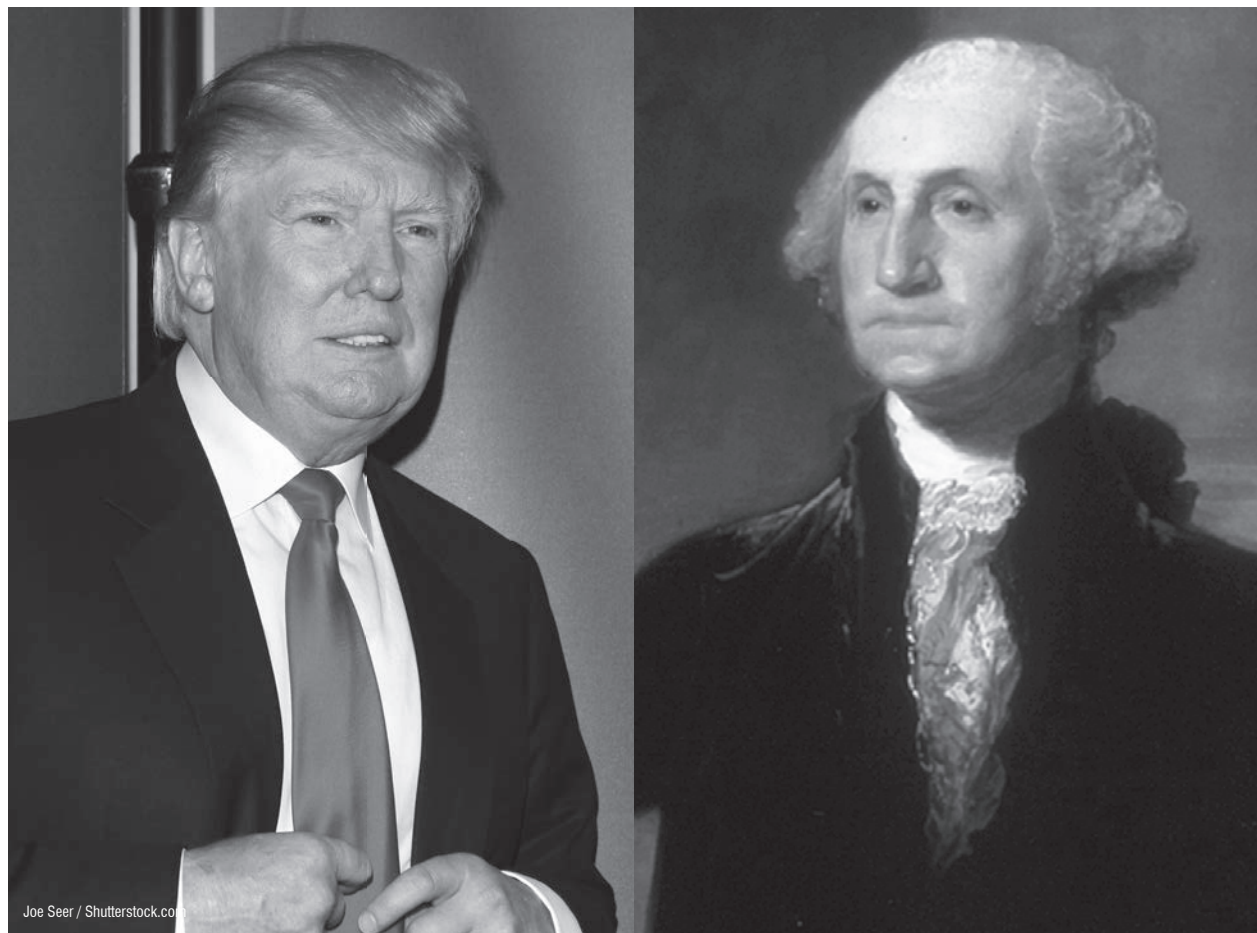




トランプ氏は現代のジョージ・ワシントン!?

アメリカ大統領選が佳境を迎えている。新大統領がアメリカをどのような方向へ導くのかは、世界にとっても大きな分岐点だ。その行く末を考えるため、大川隆法・幸福の科学総裁は9月22日、アメリカ合衆国初代大統領のジョージ・ワシントンの霊を呼び、その意見を聞いた。



「注目は、やはり、ヒラリー・クリントンをどう倒すかだな」
 現れたワシントンの霊は、現代のアメリカで最も注目しているのは大統領選だと、こう述べた。
 話を聞いていくと、ワシントンは現在、アメリカ大統領選の共和党候補ドナルド・トランプ氏として生まれ変わっていることを明かした。確かに、ワシントンは独立

戦争で活躍する以前、大農園を経営する資産家でもあった。不動産王として巨富を築いたトランプ氏と重なる。
トランプの強みは「正直さ」
 ワシントンの霊は、トランプ氏の強みについて、力強くこう訴えた。
 「この言葉をゴシック体で大きく印刷してくれたまえ。『正直な男。正直者、ドナルド・トランプ』」

ワシントンと言えば、父親の大切にしている桜の木を斧で切ったと正直に告白した逸話で有名だ。
 生前、「正直は、常に最上の政策である」という言葉も遺している。トランプ氏も、「私くらい長くやっている、ありきたりの正直さがいかにか貴重かがわかる。ビジネスマンとして、どんな局面も切り抜ける強みとなる」と述べている。

しばしば批判されるトランプ氏の「暴言」も、その「正直さ」の裏返しといえる。他の政治家なら腹に収めるようなこともあえて口にする。「嘘つき」という印象の強いクリントン氏と比べて、際立っている。
「孤立主義」への本音は?
 トランプ氏に対しては在日米軍の負担を日本に求めていることなどに関して、「孤立主義」との指摘もある。それについてワシントンの霊は、「単に孤立を言うてるわけじゃなくて、アメリカの国力を新たに立て直し、その上で、世界のバランスを取り戻し、それから最強国に返り咲いて、アメリカが新たにリーダーシップを取る」と述べた。
 トランプ氏の政策は、「いったん国を建て直さなければ、世界のリーダーになれない」という現実を見据えたものであり、世界への無関心という意味での孤立主義を訴えているわけではないようだ。
 ワシントン自身も、孤立主義の流れをつくった人物であると同時に、「偉大なアメリカ」を建国した張本人でもある。

日米同盟の行方
 気になるのは、対日政策についての本音だ。
 ワシントンの霊は、「いずれは韓国と日本に、自分たちは北朝鮮から国を守るように頼むつもりだよ。可能なことだから。アメリカが君たちに向けて、『自分の力で国を守るべきだ』と主張すれば、それが世界のトレンドになることはあり得る」と述べる。
 ヒラリー氏は、口では日米同盟重視と言うが、実際は親中派と言われる。一方、トランプ氏は日本防衛の限界を正直に認めつつも、「強いアメリカ」への意志を捨てない。日本もアメリカも、共に「強い国」となり、自立の上で助け合うべきだ。日本にとって新大統領はトランプ氏の方が望ましいだろう。

「注目は、やはり、ヒラリー・クリントンをどう倒すかだな」
 現れたワシントンの霊は、現代のアメリカで最も注目しているのは大統領選だと、こう述べた。
 話を聞いていくと、ワシントンは現在、アメリカ大統領選の共和党候補ドナルド・トランプ氏として生まれ変わっていることを明かした。確かに、ワシントンは独立戦争で活躍する以前、大農園を経営する資産家でもあった。不動産王として巨富を築いたトランプ氏と重なる。
トランプの強みは「正直さ」
 ワシントンの霊は、トランプ氏の強みについて、力強くこう訴えた。
 「この言葉をゴシック体で大きく印刷してくれたまえ。『正直な男。正直者、ドナルド・トランプ』」

しばしば批判されるトランプ氏の「暴言」も、その「正直さ」の裏返しといえる。他の政治家なら腹に収めるようなこともあえて口にする。「嘘つき」という印象の強いクリントン氏と比べて、際立っている。
「孤立主義」への本音は?
 トランプ氏に対しては在日米軍の負担を日本に求めていることなどに関して、「孤立主義」との指摘もある。それについてワシントンの霊は、「単に孤立を言うてるわけじゃなくて、アメリカの国力を新たに立て直し、その上で、世界のバランスを取り戻し、それから最強国に返り咲いて、アメリカが新たにリーダーシップを取る」と述べた。
 トランプ氏の政策は、「いったん国を建て直さなければ、世界のリーダーになれない」という現実を見据えたものであり、世界への無関心という意味での孤立主義を訴えているわけではないようだ。
 ワシントン自身も、孤立主義の流れをつくった人物であると同時に、「偉大なアメリカ」を建国した張本人でもある。

TheLibertyWeb
 True insight into world affairs
 日々のニュースへの新たな見方を提供する記事を配信中。
 ザ・リバティ 検索

大川隆法総裁 リーディング・インフォメーション
 本紙で紹介したリーディングは、全国の幸福の科学の精舎・支部・拠点で映像でご覧いただけます。
 お近くの支部はこちらから検索→ <http://map.happy-science.jp/>

10月19日より順次発刊
 大川隆法 著
 1,512円(税込)
 発行/幸福の科学出版

大川隆法
 アメリカ合衆国建国の父
ジョージ・ワシントンの霊言
 米大統領選直前!
 トランプか? ヒラリーか?
 英日対訳
 アメリカ建国の父が望む“選択”とは、人類差別排除、経済対等、そして対中・対露関係。初代大統領が考える、“強いアメリカ”復活の条件。

大川隆法総裁の著書



暴言連発でも人気の理由とは？
「イスラム教徒の入国禁止」発言の
真意とは？
2016年アメリカ大統領選
最大の風雲児、その素顔に迫る。

守護霊インタビュー
**ドナルド・トランプ
アメリカ復活への戦略**

大川隆法 著 1,512円(税込) 発行/幸福の科学出版



ヒラリー氏が国务長官だったときに収録された
守護霊インタビュー。
日本の弱腰外交、中国の覇権主義、
韓国大統領の竹島上陸について、
その本心を語った。

**ヒラリー・クリントンの
政治外交リーディング**

同盟国から見た日本外交の問題点

大川隆法 著 1,512円(税込) 発行/幸福の科学出版

月刊「ザ・リバティ」最新刊!

全国書店にて発売中



人工知能時代

人間にしかできない仕事

あと10年で消える仕事

安倍政権の次を読む

「支持率ノミクス」3本の矢

どうする? 親の老後

「幸せな介護」のすすめ



The Liberty Web
True insight into world affairs

本誌ウェブ版では最新ニュースを毎日配信中(一部有料)。
本誌バックナンバーもご覧になれます。

the-liberty.com